

# TEGOネットだより浜田

はじめに

「てご」とは、方言で「手伝う（支援する）」という意味です。

平成21年7月9日 第26号  
浜田市農林業支援センター

農薬危害防止運動期間中(6/1~8/31)です。農薬散布は重要な農作業のひとつですが、事故の発生も多いようです。これからは炎天下の散布作業となりますので、農作物に適合した使用基準の遵守や散布者は完全防備に徹し、農薬の危害防止に努めましょう。(浜田市農林業支援センター長 齋藤 實)

## 1. 各支援チームからの話題

### 新規就農支援チーム (担当: 前原<sup>まえばら</sup>・塚本<sup>つかもと</sup>)

### 農大の就農ガイダンスに参加しました

6月10日、島根県立農業大学校(大田市)が主催する**学生対象の就農ガイダンス**に参加しました。残念ながら現在、浜田市出身の在校生はいませんでした。8名の皆さんに当市の担い手支援制度や特産品振興の取組を紹介し、意見を交換させていただきました。

卒業後の進路について尋ねると、まずは雇用就農で技術を磨き、最終的には自立就農したいという方がほとんどでした。また、出身地にこだわらず、安定経営を実現できる就農作目や産地を探している相談者もいらっしゃいました。

現実をしっかり見つめながら、夢を叶えるために努力する学生の皆さん、将来は島根県の農業担い手として活躍されることでしょう。



### 認定農業者支援チーム (担当: 松井<sup>まつい</sup>・前原<sup>まえばら</sup>)

### 「花花塾」の春季研修会



6月25日、浜田・益田・鹿足郡で鉢花と花壇苗を栽培している農業者のグループ「花花塾」の春季研修会が津和野町で開催され、浜田市の認定農業者である石橋進さん、岡田治夫さん、森本千里さん、石橋隆弘さんが参加されました。

まずは各会員の春作報告と秋作計画をもとに意見交換した後、それぞれが持ち寄ったガーデンシクラメンの苗を互いに品評し、県農業技術センターの普及員の指導を受けられました。

原油や資材価格の高騰など、花き農家を取り巻く環境は厳しい状況が続いていますが、会長である石橋進さんを中心に若いメンバーが集まり、活発にそして前向きに活動されている点を頼もしく感じました。

### 集落営農組織支援チーム (担当: 森井<sup>もりい</sup>・鎌原<sup>かまはら</sup>)

### 活用しよう! 集落営農アドバイザー制度

集落営農組織の方には先月パンフレットをお送りしましたが、島根県では各地域で集落営農を実践しておられる様々なタイプのリーダーを**アドバイザー**として登録・派遣し、集落営農の組織化に伴う不安や課題の解決に向けた個別相談や、講演会などに応じる取組を行っています。

また経営の多角化など、集落営農組織のステップアップや人材育成、地域づくりに向けた活動についても相談することが可能です。

浜田市においては、今年度既に1地区が先進地視察というかたちでこの制度を活用され、組織の設立にあたってのアドバイスを受けられました。

このアドバイザー制度は**無料で活用できます**。お問い合わせや申込は当支援センターまでお気軽にどうぞ。

アドバイザー所在地マップ



## 2. 佐野小学校の子供たちがやって来た

去る6月9日に、佐野小学校の児童7名(5・6年生)が学習の一環として当支援センターにやって来ました。

まずは当センターの職員が「浜田市の農業について」というテーマで、稲作の現状、その他の作物、農家の苦勞と努力について説明。その後、子供たちからの質問を受け付けたところ、「一番高く売れる野菜は何か?」「いちごは果物が野菜か?」といった専門的な質問が次々に飛び出しました。

最後に当センターから「将来農業をしてみたい人は?」と尋ねたところ、3名が元気良く手を挙げてくれました。この中から未来の農業担い手が育ってくれることを願っています。



## 3. センチピードグラス実証圃 「種子吹き付け」実演研修を開催しました



紙や布の繊維と混ぜ合わせた種子を吹き付けています

6月22日、愛媛県西条市の(有)だるま製紙所の協力を得て、同社が開発した「畦畔法面にセンチピードグラス種子を直接吹き付ける技術(特許出願中)」の実演研修を開催したところ、生産者と関係者をあわせて26名の参加がありました。

センチピードグラス(畦畔管理用芝)を導入する際にはセル苗を移植する方法が一般的ですが、作業に多くの労力を要するという課題があります。そこで今回の研修は、移植作業に替わる、より省力的な手法を検討するために企画したものです。

佐野町に設けた実証圃の畦畔は約500㎡の広さですが、種子の吹き付け作業はわずか15分程度で完了しました。今後は、生育状況を観察しながら実用性について検証していきます。センチピードグラスの導入を検討される方は当センターまでご連絡ください。

## 4. 遊休農機具あっ旋コーナー〔譲ります〕

今回紹介するのは岡山農機社の「縦線式米選機」です。上部の受け口から投入した米が縦線の上をすべり、屑米やゴミが隙間から下に落ちる仕組みです。昭和40年代に購入されたという古いものなので、千円でいかがでしょうか。

購入を希望される方、現物を見てみたい方は当センターまでご連絡ください。また、遊休農機具情報は随時募集していますので、他人に譲っても良い農機具があればお知らせいただけると幸いです。



## 5. 新任職員のごあいさつ



浜田市の7月1日付け人事異動により、浜田市農林業支援センターの係長として着任した鎌原浩治です。

出身は金城町です。農業の経験はあまりありませんが、摘みたてのブルーベリーのようなフレッシュな気持ちで、皆様のお力になれるように頑張っていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

〔 前任の岡本係長は浜田市教育委員会に異動となりました 〕

当情報誌は新規就農者、認定農業者、集落営農組織と関係機関の皆様にご配信中です。ご意見、掲載要望、または配信停止をご希望される場合は下記までご連絡ください。

発刊元 浜田市農林業支援センター

〒697-0024 島根県浜田市黒川町 3741 (JAいわみ中央本所分館 2階)

TEL : 0855-22-3500 FAX : 0855-22-3477 E-mail : n-shien@city.hamada.shimane.jp